



中央アルプスの最南端。岐阜県と長野県の県境に、岐阜県美濃地方の最高峰「恵那山（標高二、一九一メートル）」があります。



中津川市から見た恵那山（船伏山とも言われる）

古くは胞衣山や胞山とも記載され、伊那那伎、伊那那美の夫婦神が、神坂峠を越え、美濃の地に入られ天照大神を産

んだ際、その胞衣（胎児を包んだ膜と胎盤）をこの山に納めたことからといわれています。よってこの地では、伊那那伎大神、伊那那美大神を主祭神として、山頂に奥宮本社を、麓には前宮本社を置き、恵那神社としてお祀りしています。



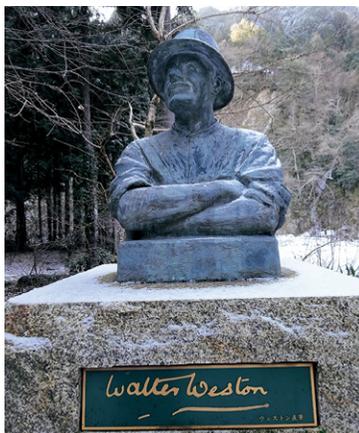
恵那神社（奥宮）

境内には樹齢一〇〇〇年とも言われる夫婦杉（県指定重要天然記念物・樹高約四十六メートル）が並び立ち神社の歴史を物語っています。



恵那神社（前宮本社）

恵那山神社の近くには「ウエストン公園」があります。明治二十六年に外国人で初めて恵那山に登頂したウォルター・ウエストンが世界に恵那山を紹介した功績を称えて銅像と公園が整備され、登頂した日である五月十一日には毎年ウエストン祭が開催されます。参加者はお祓いを受け、ウエストンが山頂で飲んだココアや五平餅が振る舞われたり、県重要無形民俗文化財の恵那文楽を鑑賞することができます。



ウエストンの胸像

また、恵那山は植物の宝庫とも言われています。垂直分布では低地丘陵帯、山地帯、亜高山帯が含まれ、苔



ココアカップ

から高木まで、多くの植物が育まれています。中津川市の市の花サラサドウダン、ササユリ、イワウチワ、シヤクナゲなど見て楽しめるものも多く自生しています。山頂はコメツガやトウヒなどの高木に覆われていますが、展望台や避難小屋裏



山頂の展望台

手の岩から僅かですが眺望を楽しむことができます。

近隣には妻籠・馬籠宿などの中仙道の宿場や、天照大神が産湯を浸かったといわれる湯舟沢の中津川温泉があります。麓の中津川市は和菓子「栗きんとん」の食べ比べなどできるので、ぜひお立ち寄りください。

◆アクセス
〔公共交通機関〕

JR中央本線中津川駅下車、北恵那交通バス「恵那山ウエストン公園方面」二三分

〔自家用車〕

中央自動車道中津川IC（国道一九号線）を北上、中村交差点で国道三三三号線へ右折